

私とウォーキング

里見 祥一

富士宮歩こう会に入り1年と半年が経ち、知人、新しい仲間達とウォーキングを楽しませて頂いています。若年の頃から身体を動かす事が好きでいろいろな所へ出掛けていました。(家でゴロゴロしているのはダメ) 50歳を過ぎる頃より、週末には田貫湖周回・外神の自宅からソフトボール場へとちょくちょく歩きながら「JRさわやかウォーキング」のパンフレットでコースを物色したりして家内と二人で歩いておりました。ウォーキングをより身近に感じられるようになってきたのは、これからの健康作りと、車社会からちょっと離れて鉄道等での移動(30~40歳代は一寸したことで車)、歩くことで感じられる事が一杯ありました。このような環境になったのも三人の子供達がそれなりに一本立ち、親としての係わりが少なくなって来た事も一因として考えられます。私のウォーキングを振り返って見ると、若い頃の北アルプス縦走・尾瀬の花めぐり・北は利尻山とありましたが、家内とのここ10年のメインイベントは旧東海道を年数が掛かりましたが(私の長期海外出張と暑さが苦手な人がおり)日本橋から三条大橋まで歩き続けられ達成出来たことです。東海道を歩いて気がついた事は歴史の事実を感じられた事です。(若い頃にもっと歴史を学ぶべきだった)一里塚・松並木と気になる場所が多く有りますが、その中でもお気に入りの場所は古戦場近くの鳴海の旧市街と有松絞りの町でした。歩こう会に入るキッカケはH22年に参加した富士山ドリームウォークの完歩です。ぐるりと一周する中で、その地域のウォーキンググループに案内して頂きましたが、富士宮歩こう会のまとまりが一番でした。私達だけで歩くよりも、多くの人たちと歩ける喜びを感じながらこれからも歩き続けられたらと願っています。

余談ですが、ステンドグラス作りにも励んでいます。興味ある方はご連絡ください。

忘れられないお山開き

斉木 美穂 (一般参加者)

昨年、初めて友人と2人で参加しました。ウォーキングに興味はあるものの、2人共まだ仕事があり、遠出をするのは一年に一度ぐらいがせいぜいです。でも、富士登山をする約束をして、毎日のように2人で夜歩いていました。それで、昨年のお山開きウォークの記事を岳南朝日の新聞で見て、2人で「まずは、これに行ってみよー!!」という事で参加しました。これが案外楽しかったんです。

そんな話をしているうちに「私も行く!」「私も!」と、仲良しの三人も加わり、今年は日曜日の開催と言うこともあって5人で参加できました。生憎の雨になってしまいましたが、それはそれで忘れられないお山開きになりました。

今年の夏は、約束の富士登山をして
御来光を見ますヨー!!

8月の事務所休業日

1日(水) 8日(水) 13日(月) ~16日(木)
22日(水) 26日(日) 29日(水)

★事務所へ遊びに来て下さい。お待ちしております★

酒匂川紫陽花の里ウォーク

佐野 和彦

五月雨や瀧りの見ゆる酒匂川

薫風やハーブの園の松田山

あぢのゝやフイフイにありぬ校歌など

富士山お山開きウォーク

修験者の法螺掠れるや梅雨の杜

護摩炊きの煙棚とく梅園最中

声こつての庭まはる浴衣の径

黙々と足許見詰む霧の中



事務所だより

その1

4月より新体制で事務所の運営を行なっています。

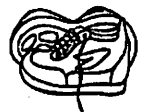
昨年に比べ会員が30名余減っていますが、行事参加者は好調で感謝申し上げます。

楽しいウォーキングが目標の歩こう会。事務所も皆様の寄り合い処、井戸端会議の場になるように心がけています。8月はマイロード本町商店街で七夕まつりが行われます。事務所では子供さん向けにUFOゲームを行います。

ぜひ、お孫さんを連れて楽しいひとときをお過ごしください。七夕まつりは8月3日(金)~5日(日)で行われます。



靴のひもをといて



その68

富士山

「富士山一周ドリームウォーク」のお手伝いをしてきました。富士急トラベルさん主催で、富士宮グループの担当は「浅間大社」~「朝霧道の駅」の間を3区間に分け歩き継ぐものです。参加者は東は東京、西は浜松、北は山梨の皆さんで、共通した話題はウォークのタイトル通り富士山に関する話が多く聞かれました。

朝から雨の日は「見えなくて残念!」、富士山が見えた日は「わあー綺麗!」など、皆さん率直にその感激を表現されていました。

地元の私たちは毎日、顔を上げれば当たり前に見ることができる富士山です。そんな私たちでも2~3日旅行をして久しぶりに富士山を見ると「おっ!富士山が見えた」そんな事を感じたことが皆さんにもきっとあると思います。日本人は古来より「富士山」を単なる山ではなく「信仰」の対象として見てきたそうです。何百年も前から富士山だけは信仰の山として特別な扱いをしてきた訳です。これはきっと日本人の持って生まれたDNAがそうさせているのでは。

おそらく何十年も何百年先も日本人は、富士山は日本一いや世界一の山と思いつけるでしょう。そのためには今のままの富士山を後世に引き継いで行くことが必要です。

「来た時よりも美しく」の精神で!。